

ろお話がございまして、先ず第一番に静岡と神奈川と、この両県に對しまして事務的に正確な数字を申し上げますと、私のほうから、大蔵省の本省から財務局へ静岡と神奈川を通過して融資しろということを通知いたしました額は一億二千万円でございまして、それでなおそれについて水産庁から若干追加して欲しいというお話もございまして、それから更に静岡、神奈川以外の都道府県の方に對して同じような方法について融資をして欲しいというお話が一つ、それから更に六大都市の仲買人、これに對しまして若干の融資をして欲しいというお話がございまして、それで只今水産庁長官が申上げました静岡、神奈川以外のその他の都道府県の方に對しましてこれは大体こういう方法でござい

村というふうなものとも若干話を進めようというふうなことで今水産庁とは毎日いろいろ数字を突き合せて作業を進めておる最中でございまして、その点御報告申し上げます。

○江田三郎君 今の水産庁と大蔵省の話を聞いておられますと、やはり方は本意になりましたけれども、数字は別としていふというふうなことを水産庁のほうから言つて、大蔵省のほうのお話では静岡、神奈川も一億二千万程度、それ以外のところは、及び流通業者のほうは作業中というふうなことでございまして、大蔵大臣が本委員会の委員長なり委員の各位に對して言明されておる静岡、神奈川の一億五千万、それ以外の分一億五千万、この数字とは非常に違つて来るのですか、どうでございませうか。

○説明員(清井正君) この点は実は前からのつゞきと続きておりました、只今も江田委員がおつしやつておられました、初め、一億五千万という枠が初めきまつたのであります。これは今回のこととは関係ないのであります、初めこれはいわゆるまぐろの生産業者なり、生産地というところで初め一億五千万という枠がきまつたのであります。併し実際問題といたしまして、これは御承知の通り静岡とか、神奈川は大部分大きい県であります。その他いろいろ県はございまして、二大県な

きましては時間を若干とつておるような次第でございまして、これにつきましても大体こういう方法で融資をしたかどうかというところで今具体的に水産庁、或いはその他の直接資金運用部の金を政府から借ります府県或いは市町

にも貸付けざるを得ないということになるのであります。まあそういうふうな事情からいたしまして、私ども更にも他県へ貸付する金額についていろいろ相談をいたしまして、専門家にいろいろ計算をさせまして、それで一定の数字を出したわけでありまして、そこで大蔵省と相談をいたして参つたのであります。初めは御承知の通りの金融の事情であります。いろいろ問題があつたのであります、大臣からのお話もございまして、又先ほど委員長からのお話があつたのでございまして、結局本筋としてはこれは大体私どもが計画いたしましたこととやうなものでございまして、きまつたのであります。ただ金額を幾らとかきめましては、先ず問題は各県々々との相談になるわけであり

ますから、具体的に最後に幾ら何県に對して貸付けるといふ最後の数字はまだ県においては交渉して見なければわからない、併しこういう金額、こういう算定方法でやうなことでございまして、これは大蔵省でやうなことでございまして、合いがついておるのであります。

○江田三郎君 融資の方法について意見の一致を見たというところでござい、それは意見の一致は見るだらうと思ひます。問題は枠が幾らになるかということにかかつて来ると思ひますので、一

体あなたの方のほうで今水産庁なり大蔵省の事務当局の間でいろいろ資料を基にして検討せられておるといふのは、静岡、神奈川以外のものもおよそ大蔵大臣が言明しておられましたところの一億五千万程度というものを目標にしてやつておられるのですか、そういう数字とはかけ離れた数字になつて

おるのですか、上ですか、下ですか。あなたが折衝中で、折衝して見なければわからんというけれども、事務当局で作業しておるといふのだから、お

よその数字はあると思ひます。それはどうなんですか。

○説明員(清井正君) 私どもが折衝いたしておる過程におきましていろいろ無論算出の細かい県別の数字は出しておるものであります。従つてそういうふうな算式でやうなふうなやつておることは事務当局で了解をとつておる。併し現実に幾らの枠になるかという数字については検討中で、算出の基礎になる数字については事務当局で話合ひがついております。大体大蔵大臣のお話になつた数字に近い数字であります。

○江田三郎君 何かちよつと奥歯に物が挟まつておるようですが、大体事務当局のほうで作業されるという事柄に

なれば、私は数字というものはほゞきつちりしておると思ひます。まさか借主になるところの地方の府県がおれのほうに余りたくさんはいやだということはないと思ひますが、そういうことは大蔵省のほうは、面県以外のものはおよそ一億五千万程度、大臣の言つた……これはまあ政治的な発言でし

ようから、それが事務的になれば多少の食い違いがあるとしても、大枠として、その程度のものは出せる、又出そうとして作業中である、こう了解してよろしいか、大蔵省のほうはどうなんですか。

○説明員(牧野誠一君) ただ数字はやはり細かい点になりますというふうな出し方があるわけではございませう。それで、大体そういうふうな金額をめぐりに

して、今数字を、静岡、神奈川のほかとバランスがとれるようにということ

のことは私はよく知りませんが、近頃大蔵省の理財局あたりは大変な権威を持つてゐるのじやないかと思つて、事務の範圍を逸脱してゐるのじやないかと思つて、そこで今大蔵大臣はこゝういふ言明をされた。これははつきり委員長が報告されたのだから私は嘘じやないと思つて。そうすると、あとは大蔵大臣の言明の線に沿つて事務的に作業を進められべきものだと思うのです。だから私がお聞きするのは、神奈川、静岡以外のおも大蔵大臣の言われる一億五千万という大枠に近い数字でできるのですかというのを聞いてゐるのです。それはやつて見なければならぬと言つても、もう作業を進めておられて、それがやつて見なければならぬという段階ではないと思つて。ただ府県と折衝が残つてゐるにしても、大蔵大臣の数字というものは大体わかつてゐると思つて、これが最後の一億五千万なりを言うのではなくして、ラウンド・ナンバーとしてゐるのじやないか、大蔵大臣の言明の大枠と似たようなものか、これだけのことをお聞きするのは、私はやはり明確に答えて頂きたいと思つて。そういう答へがでるかどうか、誰が事務をするのかからんといふことになつて来るわけでありまして、その点一つ……私も将来に互つて言葉をとりあふたかといふのでなしに、一応の見当がつかなければ、休会中の委員会というものは、又その返事待つてもう一遍聞くといふことはできんと思つて。我々あつさり帰れるやうに一つはつきり言つて下さい。

○説明員(清井正君) 私からお答え申し上げます。只今の江田委員のおつしやることはよくわかるのであります。私ども事務的に折衝して参つておりました、私どもの立場としていへば、主張がありまして。大蔵省としても財政を預かつてゐる立場としていへば、御主張があるわけでありまして。その他これを算出する場合におきまして、これは静岡、神奈川に少なからず貸付をするとなれば、相当の均衡といふ問題も考えなければならぬといふことがあるわけ、総枠につきましては、さういふ実を苦心して相談をして参つたのであります。又先ほど私申し上げましたのは結局貸付をする場合におきまして、これは飽くまでも県の財政を通じて行く形になる財政資金でありますから、県に貸付をする、県が漁信連なり一定の金融機関を通じて貸付する、こゝういふ形になります。それで同じく私どもが計算いたしました場合には、静岡、神奈川以外の全部を対象としたのであります。府県によりましては非常に船数が多いといふこともありまして、或いは漁業者によつてはそれほど惜りなくともいいという場合もありまして、話をしてくればどの程度の一体金額に収まるかといふことがちよつとはつきり判断がつかないといふことが、事務的に計算する立場に立つとはつきりお答えを申し上げかねる。こゝういふことだと思つてあります。併し話といたしましては、私も一定の算出をして数字的に話をしてゐるのであります。只今もお話申し上げた通り、原則的にその算出方法で行つて、こゝういふふに事務的には了解がついてゐるわけでありまして、決して大蔵

大臣の言つたこれと離れるとか離れないとかいふことでなしに、その基礎となつた数字に基いて具体的に今後話をして行つて、こゝういふことであります。御了承願ひます。

○委員長(小林孝平君) ちよつと私からお尋ねいたしますが、実はこの問題は先月の三十、三十一日の両日委員会を開きました際に、もう暫らくたてばきまる、それで大体九日頃委員会を開けばきまるだらうといふやうな安藤國務大臣からもお話がありまして開催したのであります。ところが、全然話がまだ委員会においてはつきりする段階に至つていないといふことです。これでは困るというので、大蔵大臣にお尋ねした。先ほどのやうな御答へ。大蔵大臣が一億五千万のやういふ言われるには、これは腰だめでやられたのではない、当然今まで大蔵、農林両省で事務当局に折衝してゐた数字に基いて言われたものであらうと思つて。それはそのあとで大蔵大臣が、更にこれは事務当局からの要求で、一億五千万をもう少し値切るわけに行かないかといふやうなお話に対して、それは君たちの腕次第だといふ答へをされてゐるところを見て明らかならうと思つてゐるのであります。それで今大蔵省当局の説明によりますと、どうもそれが納得できないのです。今あなたがたは大蔵大臣の言われる腕次第の腕を振つてゐるところなんですか、どうなんですか。一つ地方資金課からはつきり一つ答へして頂きたい。

○説明員(牧野誠一君) この問題について、腕を振つてゐるというやうな段階ではございません。これは先ほど私若干申し上げましたが、静岡、神奈川についてすでにきめました分、これとバランスをとるといふことでほかの県について実施しようじやないかといふことで、話を進めてゐる最中でありまして、それでその間にいへば、府県の数字も今度は非常に多くなり、それから又その結果割合小口の府県といふやうなものも非常に多くなつてゐます。それで話が腕を振つとか振わないとかといふ段階ではございませんで、計数を整理して相手方とも若干の話を計けるという段階にあるわけでありまして。

○江田三郎君 どうも聞いておつてわからぬのですが、静岡なり神奈川の分は一応きまつた。さうしてやり方については、これと均衡をとつたやり方で行くのだ。その際論議あなたがたのはうではいへば、なデータといふものは集まつてゐる。さうするともうちやんと概算の金額といふものは出るわけだ。或いはその中で府県の需要によつて、我々さういふこと想像できませんけれども、府県として拒否される分があると思つて。拒否されんといふことなら、おおよそどのくらいの果があるといふことはわからんはずはないと思つて。一体何と何と資料が足らんのですか。長官どうです。資料がちゃんときまつておれば、方法については意見が一致してゐるというのだから、概算金額は出るじやありませんか。何か足らんものがあるのですか。余りくどくやらんで適當にやつて下さい。

○説明員(清井正君) 重ねての御質問でございますが、無論私申し上げました通り、静岡、神奈川に貸付しました実績の比較のとれるやうに他県に貸付をする。この原則はその通り実施せざるを得ないのであります。そこで私どももさういふ観点から、いへば資料を出しまして折衝いたしまして、恐らく最終の段階に達したところでありまして。原則的には大蔵省と折衝してやつてゐるわけでありまして、たゞたびたび申しした通りであります。ただ最後の数字といふことになりまして、無論実施段階でありますから、実施段階の具体的な相談に入つて各県と相談する。県によつては非常に幾数の少い県もある。或いはこゝういふ方法によらずに、ほかの方法でやつてゐるところもあるし、こゝういふ方法なら引受けないといふ問題も起つて来るかも知れない。具体的に各県に當つて見ようじやないか、當りました結果最後にまとめた数字を出す、こゝういふやうなことに相成つてゐるのであります。さういふことで以てやつて行つていふことを資金課長も申上げたと思つてあります。私どもも一定の数字は算出いたしましたしておりますけれども、大蔵省との最後の折衝等の都合もありますので、さういふことで以て実施実施段階に入つた最後の結果、数字をまとめる、こゝういふことになると思ひます。基礎数字としては大蔵大臣の言われた数字に近いものが、基礎数字になつてゐるわけでありまして。さういふことで実施段階に入つてから、こゝういふことであります。

○江田三郎君 何でもこの最後のところであつて来るのか、ちよつとわからぬのです。今この最終段階に來てゐる。そこで今私がお聞きしたのは、我々には想像できないけれども、あなたがたがこゝうやつて作業されたものについて、或いは県でそれは面倒だからおれのはうはやらん、こゝういふところがあ

るかも知れない。併しそういうことを別問題にすれば、今長官のいわゆる最終段階で出ておる数字というものは大よそ一億五千万と似通つたものかどうかと、どうしてそれを言うかやいかなのですか。何の差障りがあるのですか。それもたまたままでの経過がなければそういうことで或いは我々も引下つていかもわからない。併し大蔵大臣がこの一億五千万なら一億五千万という数字をきめておられるけれども、事務局のほうではこれを減額したいと言ふ。そこでそれを減額するのはお前たちの腕だということをお前が何かカーテンを引くという、そのカーテンの奥は水産長官の言われるのと違ひのじやないか、誰でもそういう心配持ますよ。一体徒らに不安を長引かせることがあなたに目的なんですか。そうじやないでしよう。皆心配して傍聴にも来ておられる。傍聴の人は別にしても、委員会としてももう終つておる委員会を又この日を改めて開いておる、これでつかなければ、又もう一遍開かなければならぬ。どうしてそれをばつかり言わぬのですか。

○説明員(清井正君) 先ほど委員長からもお話がありました、これを負けさせる、いわゆる値切るのが事務局の腕だというお話があつたのでありますが、私も事務局同士で相談しておることは、そういうことは一切ないのであります。飽くまでもいわゆる現在貸付けている果との均衡を考慮いたしまして、均衡を失しないようにやろうじやないかということであり、而も各果々の数字も私も損算額を計算した数字があるのであります。

ら、その数字を基礎といたしまして、地域ごとに実は計算をいたした数字はあるのであります。その数字が大蔵大臣が言われた数字に近いようなわけであり、併し、そういうことで大蔵省とも実は相談いたしておるのであります。ただ最後の数字が申上げられないというものは、只今資金課長が言われた通り、又私も御説明いたします通り、具体的段階で相談した上で最後の数字が出て来るであらうということであり、基礎数字についての根拠は大蔵大臣のおつしやつておることとこれは変りないと思ふのであります。要するに単に大蔵省が査定を少くとも値切るということに私も事務的にやつておるというふうな印象を受けられるかも知れませんが、決してそうではない。まあ根本的には話がきまつておるのでありますが、実施段階に入つて最終的な数字が出るだろう、単に私のほうの出した数字を大蔵省が値切るというふうなことではなく、今言つたような静岡、神奈川、その他の均衡において行きたい。私もはそういう均衡において貸付するやうにやつて行こう、こういうことであります。決して大蔵大臣のおつしやつたことと違つておるということじやないといふふうに私もは了解いたします。

○江田三郎君 大蔵省、その通りです。

○説明員(牧野誠一君) 一億五千万とかいふ／＼お話が出ておりますが、それから或いは腕の振ひ方とかいふ／＼出ておりますが、只今水産長官が申上げました通り、腕を振うとか、振われ

るとかいう問題でないのでございまして、計数を固めておるという段階でございまして、大体静岡、神奈川から類推いたしまして、それと均衡を失しないようにという点を申上げたのでございまして、そうすると大体の数字は、そう飛び離れた数字は私もは出ないのじやないかと、これは思つております。それでどうも、今数字を固めておられます中だものですか、最終的な数字はちよつとまだ出ておりませんが、大体均衡を失しないということと他の都道府県に配分をしようということとでございまして、大体御了解願ひますが。

○江田三郎君 そうややくしく言わんでいいじやないかなあ。私はもう簡単に聞きますよ。今水産長官の言われた通りですかというのですよ。大蔵大臣が何を言つたというて、そんなことは言わなかつて、そんなことは我々知つたことぢやない。あなた文句があつたら大蔵大臣に言われたらいいので、要するに水産長官が今答へられたこととあなたのほうは同じ見解を持つておるかどうかということですよ。

○説明員(牧野誠一君) 同じでござい

○江田三郎君 それなら水産長官のお答へで行きますという、この各府県の数字を合すると、大よそ大蔵大臣の言つた一億五千万と大差ない、こういうことです。私には了解します。

○吉米地義三君 今の問題は、この前国会から委員長初め二名の委員が出て行つて大蔵大臣に面接したそのとき、はつきりと静岡、神奈川は一億五

千万円、その他の県に対しては一億五千万、それだけ出すという言明を得たのでありますから、あとは事務局を幾ら責めても、それを覆すわけにはいかんと思ふので、ただ分配の上において公正を期しなければならんから、そういう立場におきまして両当局が事務的に確認する、そういうふうな理解して私は差支えないと思ふのです。それはそれでいいと思ひますが、今の一億五千万円とかいふことは、実は応急の処置なんですね。而も根本的にそれを解決するといふ意味でなく、僅かに一部に融通をしようといふ措置なんですね。然るにビキニの問題に対する関係は、そういうただ応急処置だけでは解決されるべき問題じやないと思ふのです。従つて直接の損害であるとか、間接の損害であるとかいふことを引くるめて、もつと根本的に考えなければならぬ問題があるかと思ひます。そのことは国内問題ばかりでなく、相手国である米田に対しての交渉にも相当根拠がある強い折衝をいたして行かなければならぬと思ふ。その意義をやはり国会は国会として、若しそういうふうに皆さんの御意見が一致するならば、その点を明確にいたしておいて、そして一方は外交交渉にもなりましようし、一方は直接間接、而もこれからなお起るべき予想もあります損害に対して如何にするかということ、これは重要な問題でありますから、かような点について、この委員会が意見をまとめるのかということが必要でないかと思ふのですが、これは委員長からお諮り願つて御処置を願ひたいと思ひます。

○委員長(小林孝平君) ちよつと速記をとめて下さい。
〔速記中止〕
○委員長(小林孝平君) 速記を始めて下さい。
今吉米地義三君からお話がありました、本日出席の委員のかたも少うございまして、後日事務局で意見をとりまとめまして、適當の機会に委員会を開催いたしまして、この問題を審議いたしたいと思ひます。
別に御質疑もなければ、本日はこれにて散会いたします。
午前十一時四十分散会